

令和4年度

# 幼稚園教育研究



富山県教育委員会  
富山県幼児教育センター

# 目 次

## <令和4年度研究の方向>

I	幼稚園教育課程研究協議会の協議主題について	
1	分科会協議主題と協議の視点について	1
2	分科会協議主題の分担について	4
II	「主体性を大切にする保育の在り方」について ～幼児教育施設訪問研修における子供の姿から～	6
III	令和4年度 幼稚園教育研究行事予定表	25
IV	令和4年度 各幼稚園教育研究会一覧	26

## <領域「環境」について>

I	領域「環境」の考え方	27
II	日常の実践事例	29
1	ねらい(1)について	30
2	ねらい(2)について	33
3	ねらい(3)について	37

令和3年度幼稚園教育調査研究委員・担当(主任)指導主事等名簿

## ＜令和4年度研究の方向＞

### I 幼稚園教育課程研究協議会の協議主題について

富山県幼稚園教育課程研究協議会では、文部科学省から示された幼児教育の理解・発展推進事業（都道府県協議会）実施要項における協議主題に基づいて研究を進めている。この協議主題は、幼稚園教育要領等の趣旨を踏まえ、幼稚園の教育課程の編成及び実施に伴う指導上の諸問題や幼稚園を取り巻く諸問題について理解を深めるため、提示されたものである。

#### 1 分科会協議主題と協議の視点について

##### ＜共通協議主題＞

「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について

##### 【協議の視点】

- (1) 幼児教育施設と小学校の先生方が、それぞれの保育・教育への理解を深め、架け橋期のカリキュラムを協働して作成するためには、どのようにしていけばよいか。
- (2) 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論をもとに作成予定の架け橋期のカリキュラムと教育方法の手引き（仮案）や参考資料等を踏まえ、子供の発達や学びの連続性を確保するため、各園や学校としてこれから何に取り組んでいく必要があるのか。

(協議主題の理解を深めるために必要な資料等)

○幼稚園教育要領及び同解説

第1章 総則

第2 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

第3 教育課程の役割と編成等

5 小学校教育との接続に当たっての留意事項

○幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び同解説

第1章 総則

第1 幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標等

3 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

第2 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等

1 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等  
(5) 小学校教育との接続に当たっての留意事項

○保育所保育指針及び同解説

第1章 総則

4 幼児教育を行う施設として共有すべき事項

第2章 保育の内容

4 保育の実施に関して留意すべき事項

(2) 小学校との連携

○小学校学習指導要領及び同解説

第1章 総則

第2 教育課程の編成

4 学校段階等間の接続

※「第2章 各教科」における生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、特別活動において、「幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期における遊びを通じた総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるようにすること。」とされている。

### <協議主題1>

「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育の質に関する認識の共有、家庭や地域との連携の在り方について

#### 【協議の視点】

- (1) “よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を各施設と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」を実施していくため、幼児教育の質に関して社会との認識の共有を図り、地域や家庭との関係においても連携を強化していくためには、どのような組織や工夫が考えられるか。
- (2) 全ての子供のウェルビーイングが高めることが求められている中、幼児教育施設が有する機能を地域に開放し、地域の子供やその保護者を対象に子育ての支援を充実

- させていくためには、どのような取組や工夫が考えられるか。
- (協議主題の理解を深めるために必要な資料等)
- 社会に開かれた教育課程について
    - 「社会に開かれた教育課程」の3つのポイント
    - ① よりよい園・学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を園・学校と社会とが共有します。
    - ② これからの社会を創り出していく子供たちに必要な資質・能力が何かを明らかにし、それを園・学校教育で育成します。
    - ③ 地域と連携・協働しながら目指すべき園・学校教育を実現します。
  - 幼稚園教育要領及び同解説
    - 第1章 総則
      - 第7 教育課程に係る教育時間終了後等に行う教育活動など
    - 第3章 教育課程に係る教育時間終了後等に行う教育活動などの留意事項
      - 2 幼稚園の運営に当たっては、子育ての支援のために保護者や地域の人々に機能や施設を開放して、園内体制の整備や関係機関との連携及び協力を配慮しつつ、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、幼児と保護者との登園を受け入れたり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど、幼稚園と家庭が一体となって幼児と関わる取組を進め、地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たすよう努めるものとする。その際、心理や保健の専門家、地域の子育て経験者等と連携・協働しながら取り組むように配慮するものとする。
  - 幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び同解説
    - 第4章 子育ての支援
  - 保育所保育指針及び同解説
    - 第4章 子育て支援

## <協議主題2>

指導計画の作成、保育の展開、指導の過程の評価・改善について

### 【協議の視点】

- (1) 幼児の発達に即して一人一人の幼児が幼児期にふさわしい生活を展開し、必要な体験を得られるように指導計画を作成するには、どのような工夫が必要か。
- (2) 具体的なねらい及び内容を設定し、適切な環境を構成するに当たって、どのようなことを考慮する必要があるか。
- (3) 幼児が望ましい方向に向かって自ら活動を展開していくことができるよう、先生

はどのような姿勢で援助をする必要があるか。

- (4) 幼児の実態等に即して指導の過程についての評価を適切に行い、指導の改善を行うためには、どのような工夫が必要か。

(協議主題の理解を深めるために必要な資料等)

○幼稚園教育要領及び同解説

第1章 総則

第4 指導計画の作成と幼児理解に基づいた評価の実施

1 指導計画の考え方

2 指導計画作成上の基本的事項

○幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び同解説

第1章 総則

第2 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等

2 指導計画の作成と園児の理解に基づいた評価

(1) 指導計画の考え方

(2) 指導計画の作成上の基本的事項

○保育所保育指針及び同解説

第1章 総則

3 保育の計画及び評価

(2) 指導計画の作成

(3) 指導計画の展開

(4) 保育内容等の評価

○「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」(令和3年2月文部科学省)

○「指導と評価に生かす記録」(令和3年10月文部科学省)

**【参考：「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における検討状況】**

協議主題にも記載がございます、「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」の検討状況については、下記URLにて公表しております。

必要に応じてご参照ください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/086/giji\\_list/index.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/086/giji_list/index.htm)

## 2 分科会協議主題の分担について

令和4年度は、文部科学省から示された3つの協議主題のうち、富山県に分担された以下の2つの分科会協議主題について研究を進める。

分科会協議主題については、富山県国公立幼稚園・こども園教育研究会、富山県私立幼稚園・認定こども園協会で分担し、令和4年8月25日に開催予定の幼稚園教育課程研究協議会で発表する。発表園については、各組織において選出する。

分科会協議主題	令和4年度担当
<共通協議主題> 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について	<u>私立（新川地区）</u> 私立（西部地区）
<協議主題1> 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育の質に関する認識の共有、家庭や地域との連携の在り方について	<u>国公立</u>

\* \_\_\_\_\_は、令和4年8月25日に開催予定の幼稚園教育課程研究協議会の発表担当

\* 私立（富山地区）は、令和5年度の発表に向けて、令和4年度から協議主題2に取り組む。

## Ⅱ 「主体性を大切にする保育の在り方」について

### ～幼児教育施設訪問研修における子供の姿から～

富山県幼児教育センターでは、令和元年度から「幼児教育施設訪問研修」を行っており、訪問した園・所の研修テーマには、「主体性」をキーワードとしたものが多く見られます。

そのことから、富山県内の多くの園・所、保育者が「主体性を大切にする保育」を目指していることが伺われ、令和3年11月に開催した「幼児教育・小学校教育接続研修会」の講座3では、「主体性を大切にする保育の在り方」をテーマに取り上げました。

幼児教育施設訪問研修における子供の姿から見られた、子供の主体性や、子供の主体性を育む援助、環境の構成等について「幼児教育・小学校教育接続研修会」で、幼児教育スーパーバイザー、幼児教育アドバイザーが発表した資料より、紹介します。



# 主体性を大切にする 保育の在り方

富山県幼児教育センター  
幼児教育スーパーバイザー 青山 仁

# 子どもの主体性の出発点

興味・関心 好奇心 自発性 安心感 自己肯定感 願い 憧れ

## 環境

楽しそう  
面白そう  
やってみたいなあ  
不思議だなあ？  
何でだろう？  
どうしてだろう？

ムズムズ  
ワクワク  
ドキドキ



保育者が子どもの気付きや思  
いを肯定的に受け止め、認め、  
それに価値を見出す

こんなことがしたいんだ。  
こんなことが好きなんだ。  
こんなことに興味があるんだ。



# 主体性を生み出す環境

子どもが意味を創造する環境

(汐見稔幸)

固定されず、構成された環境に子ども自身の自由な発想が入り込み、多様な経験ができる環境。

## 変化し生きて働く環境

物的環境

子ども自身が変化させられ、子どもとともにつくる環境

人的環境

安心感がある多様な人間関係や子どもを無条件で受け入れる保育者の存在

空間

心地よさが感じられ、自由に動き回れる空間

時間

十分遊び込むことができる自由な時間

経験

見たことがある、楽しかったこと、みんなで活動したこと

出典：「子どもをとりまく現代の環境 東京大学公開講座『環境』」  
東京大学出版会 1991年

# 主体的な遊びの背景



子どもの主体的な遊びが引き出される背景には、保育者が子どもの興味関心、気持ち言動などに耳を傾け、それらをいかにして遊びの発展や充実につなげようかと模索する保育者の姿にある。

# 好奇心の発揮

## 主体性の発揮

おもしろいなあ  
たのしいなあ  
すぐこわれてしまう  
どうしたらいいんだろう  
むずかしいなあ  
こうやったらいいのかなあ

楽しさ  
充実感  
満足感  
失敗  
試行錯誤  
遊びの没頭  
次への期待感



保育者が意味付けと  
気づきを与える

楽しそうね  
面白いね  
頑張ってるね  
すごいね  
A君たちもやってるね  
こんなやり方もあるよ



# 主体性がつながる

主体的な遊びが、集団の場では子ども個人の主体から協働な主体性への発展につながる

共感や衝突、葛藤

一体感

(協働的な主体性)

私たちの遊び  
私たちのクラス

僕もトンネル通るよ  
おもしろいね

壊れないように  
おさえてるよ

ほら見て! 通ったよ  
楽しいね



集団での主体的な遊びは、保育者の支援だけではなく、委ね任せ抜ける中から生まれる

# 主体的遊びにおける三つのアポリア(難題)

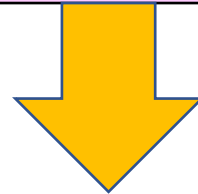
(秋田喜代美)

「発達」150 2017

- ① 子どもの興味関心を読み取ることのできる観察眼、即興的に応じられる判断やスキル、そのための人員や保育者側の心理的余裕。
- ② 一人ひとりの子に応じるだけでは集団での主体的遊びは生まれない。集団での主体的な遊びは、保育者の感性と実践の積み重ねによって可能となり、保育者が支援することだけで生まれるだけでなく、任せ委ねて抜けることから生まれていく。
- ③ 園という保育システムの時間や空間、集団規範が子どもの主体性とともにも葛藤を時に生み出す。

# 園や保育者に求められること

- ①保育者たちが主体的に専門の知識を働かせる。
- ②園としてみんなで協働し相談して、難題を自覚化する。



**主体的な遊びは  
主体的な保育を保証される園風土の醸成とともに可能となる**





# 主体性を大切にする 保育の在り方

～訪問研修における子どもの姿から～

幼児教育アドバイザー 中西 千賀子

# 研修テーマで多くみられるもの

• 子どもの主体性	32%
• 遊びに関すること	23%
• 指導計画のこと	13%
• 個別配慮児のこと	13%
• 保育環境のこと	7%
• その他	12%

# 【子どもの主体性】

アドバイザー研修より 青山スーパーバイザーより提示

○子どもの主体性が引き出される背景

好奇心

やってみたいと思う心



好奇心の発揮

主体性が発揮されている状況

仮説を立てて確かめる

失敗を経験し、次のアイデアへとつなげていく  
試行錯誤しながら次の課題に向かっていく

粘り強く取り組む

時間や環境を十分保障する

子ども



子どもの偶発的なつぶやき



好奇心の発揮



遊びに没頭

保育者



← 保育者が受け止め、それに価値を見出す

← 保育者の問いかけ

← 時間や環境の保証

保育者が子どもの興味・関心、気持ち、言動などに耳を傾け、いかに遊びの発展や充実につなげようと模索するか

子どもの好奇心にアンテナを張って遊びの発展や充実につなげるか

主体的な遊びが引き出されるか否かは保育者に依存する

# お店屋さんごっこ



# いつでも取り出せる環境



# 遊戯室でまちづくり





幼児の自由な活動



協同で行う活動



一斉で行う活動

バランス良く取り入れる

安定して楽しく園生活を送れるよう  
一人ひとりの幼児に応じた保育を進める



# 主体的保育の展開をと思っているのに どうしてできないのか

今までの教育の形が身についていて抜け出せない

園全体で考えることで気づきにつながる

あせらず1歩1歩・・・長期を見据えて前向きに

- ・子ども一人ひとりに声をかけること
- ・子ども一人ひとりの気づきや工夫を認める
- ・失敗させることを大切に 失敗を恐れない

しっかり きちんと ちゃんと から

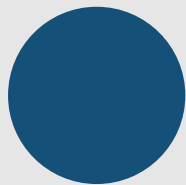


- 困り感を大切に（困った時助けてくれる保育者がいる）
- 一緒に考えてくれる保育者がいる（子ども主体）
- 嬉しいことをともに喜び認めてくれる保育者がいる



子供が工夫し、考えることのできる環境を作りましょう

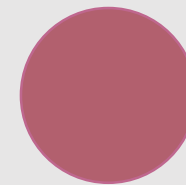




楽しかった人・・・「はい」  
子どもは忖度して「はい」  
どこが楽しかった？



次の展開につながらない



今日の活動で  
困ったことがなかった

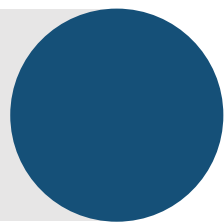


子どもの会話が広がる

# 主体的保育の展開は保育者次第

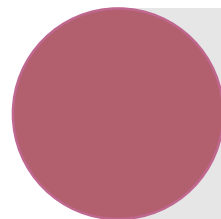
- 子どもの心に火をつける  
(ワクワク・ドキドキ・もっとやってみよう)
- 一人ひとりを認めることで、自信につながり、  
もっとやってみようと思う
- 友だちの行動に目が向き、真似ようとし、  
さらに自ら気づき活動が広がる

私たちはみな



自分の可能性を最大限に伸ばし  
より良い保育ができる保育者になりたい

と願っています



子どもを信じ  
もっと子どもに任せ  
子どもと共に  
楽しい保育を  
作り上げていきましょう





ご清聴ありがとうございました

---

# 主体性を大切にする 保育の在り方

～訪問研修における  
子どもの姿から～

幼児教育アドバイザー

波岡千穂



## 訪問園の

# 【保育者の課題意識】

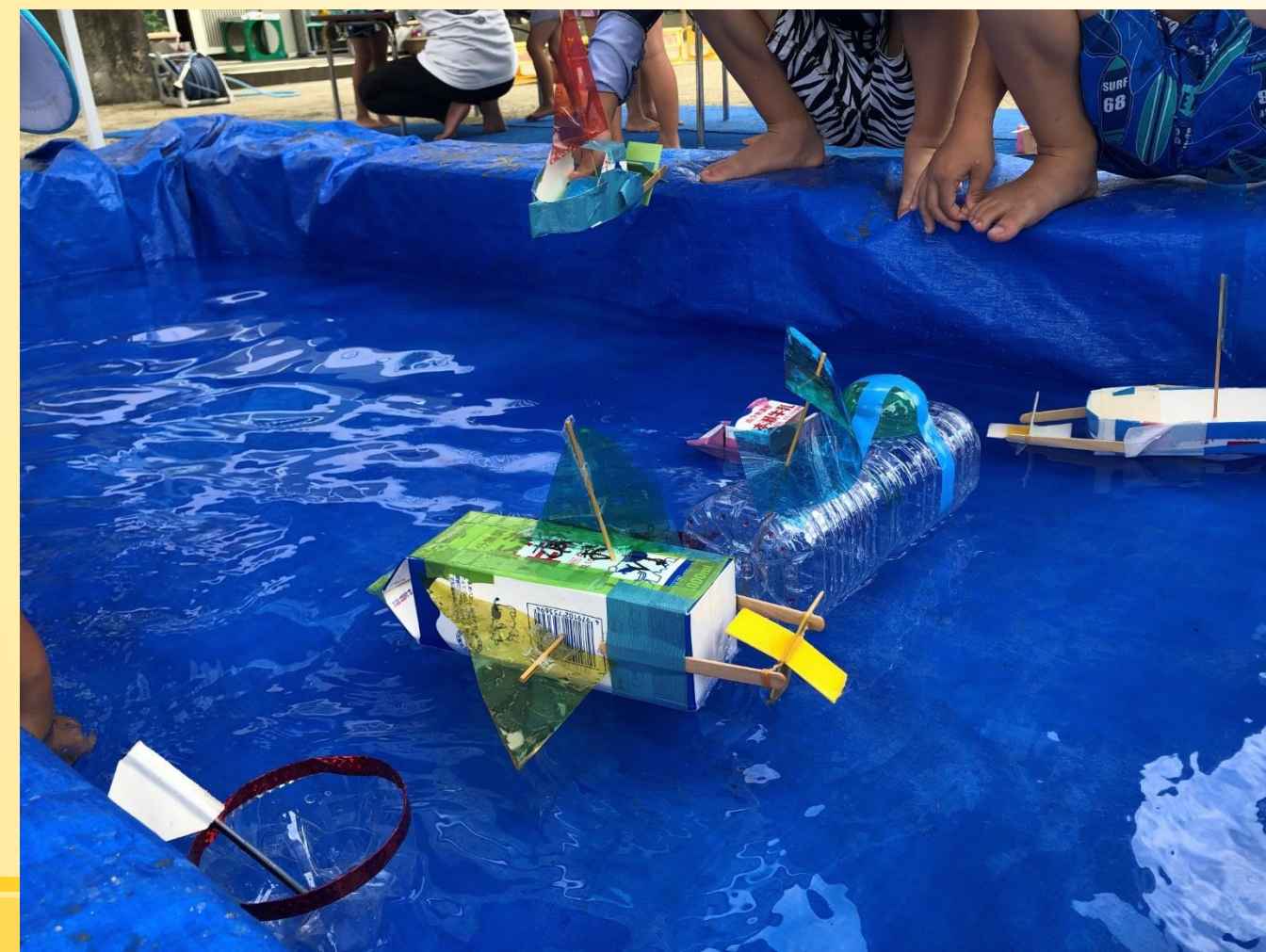
- 主体性を育むために、  
保育者がどこまで伝えたらいいのか、  
どのような関わりをしたらいいのか、立ち位置は？
- 遊びを継続して発展していく難しさ  
→どんな視点、援助？
- 子どもたちの主体性を活かし、  
遊びにつなげることができているか不安。
- 保育者主導になってしまう…

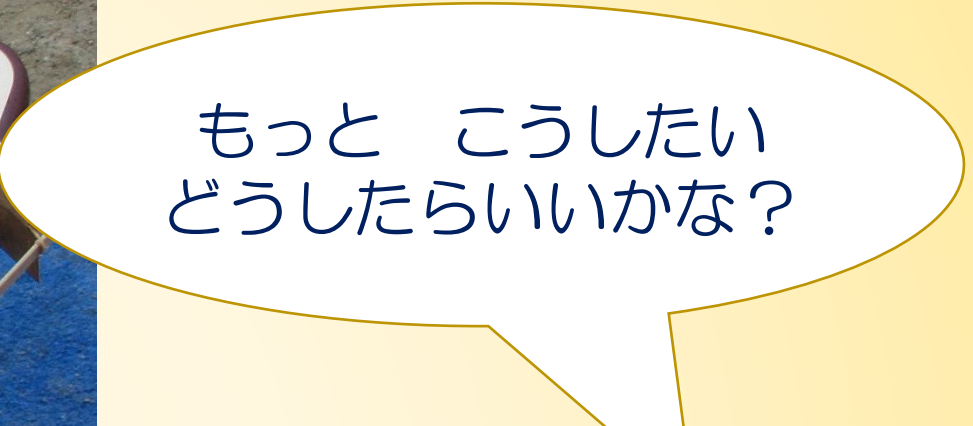
# 「自分で作った舟で遊ぶ」 (年長組)



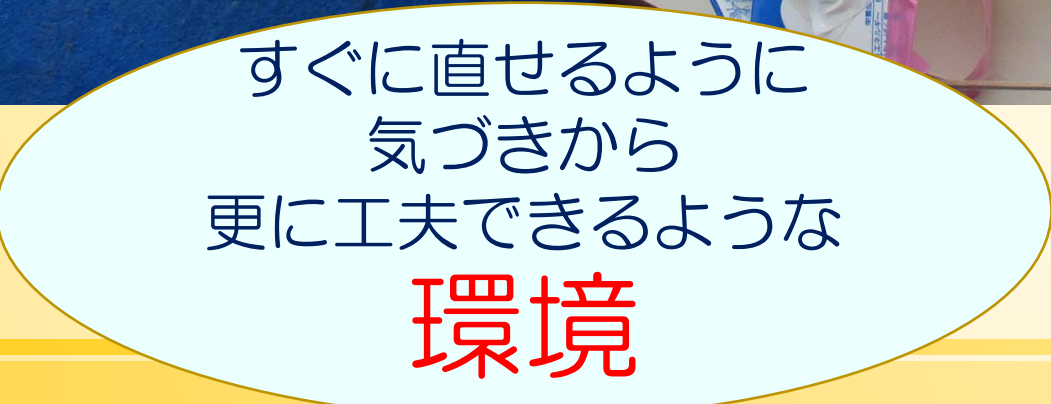
# ①作る

- 自分のイメージした舟を作ることができるよう、子どもと話し合いながら必要な素材や用具などを準備する
- 舟の大きさ、形、重さや素材の性質や仕組みについて気付けるよう、保育者も一緒に考え、関心を高めていく





もっと こうしたい  
どうしたらいいかな？

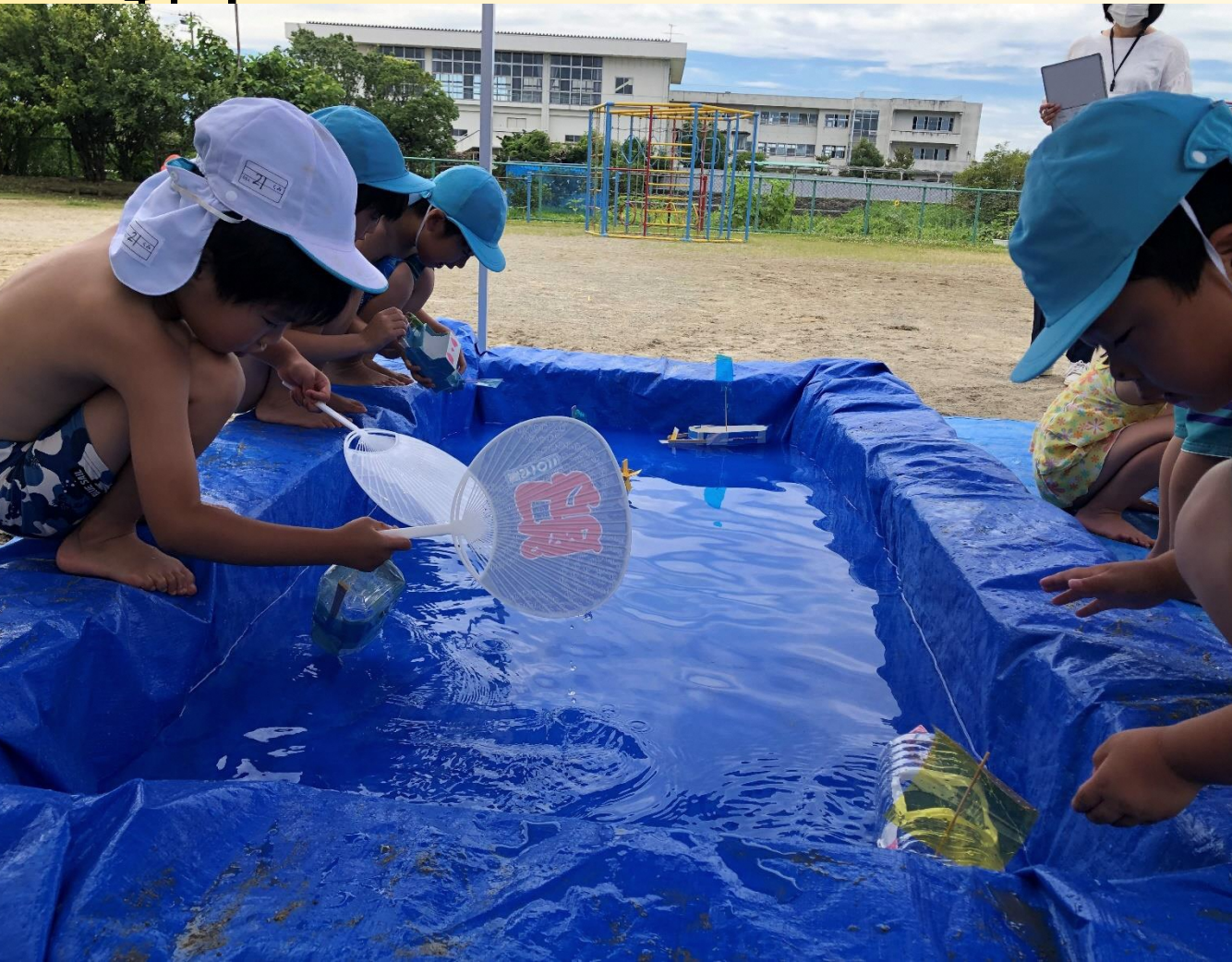


すぐに直せるように  
気づきから  
更に工夫できるような  
**環境**



## ② 遊ぶ

○どうしたらうまく浮くのか、よく動くかなど試してみる中で、  
子どもの気づきや発見を形にできるように一緒に考え援助していく  
○友達と舟が動いた距離や速さを競い合う中で、長さ(距離)や  
タイムなど、数量への関心につなげていく



前に回したら後ろに進むの  
後ろに回したら前に進むよ!

発見

すごい発見!!  
みんなに  
教えてあげて!

後で話す...

疑問

だけど  
沈んじゃう...

どうしてだろう??

推測

水が入るから...

どうしたらいいかな??

挑戦

試行  
錯誤



発見

いっぱい巻いたら  
速くなるよ!

いっぱいって  
どれくらい?

100回!

ぼくは  
1,000回!!

数量  
感覚

いっぱい回したのに  
進まない!!

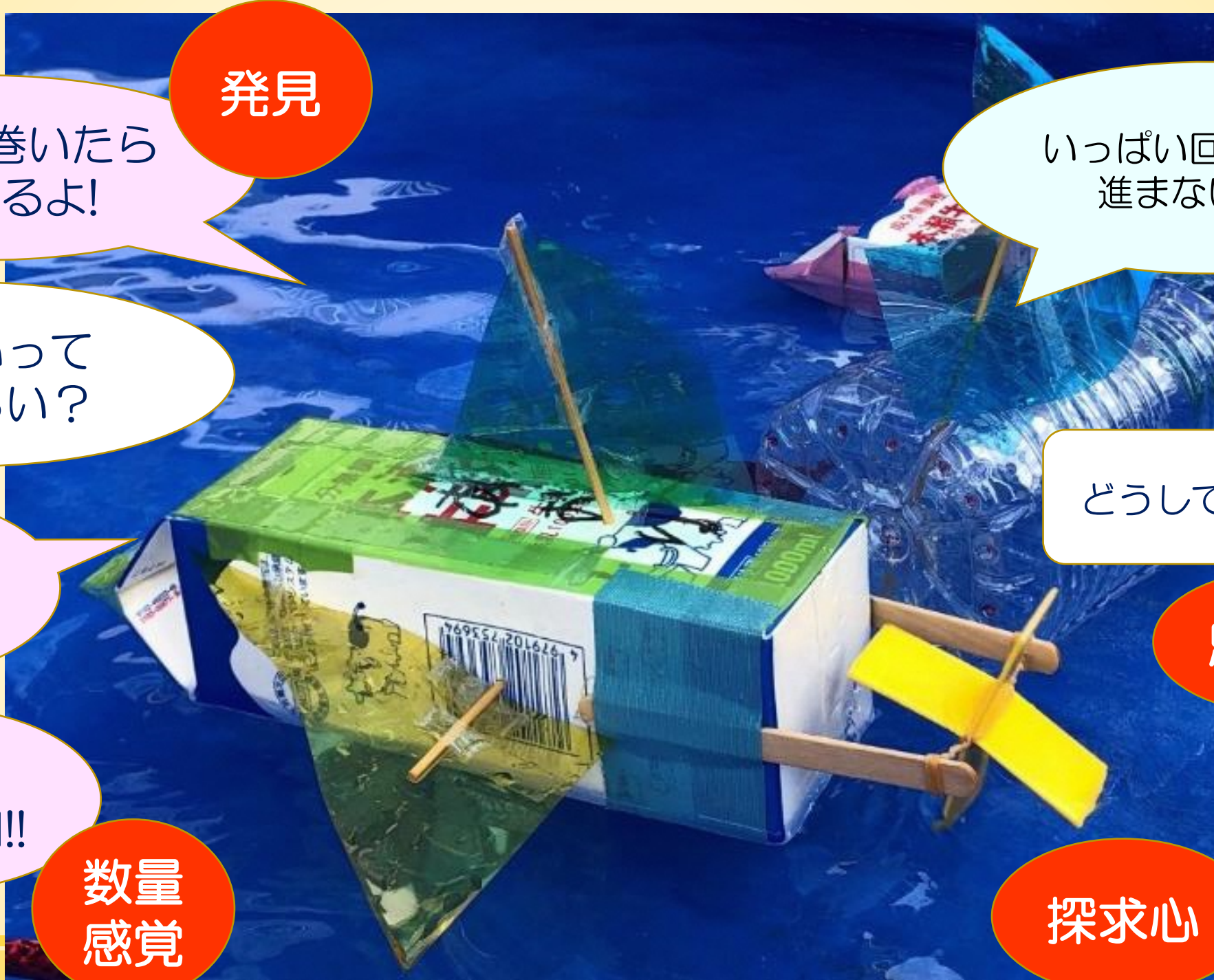
疑問

どうしてだろう??

思考力

試行  
錯誤

探求心



## 【振り返りの時間】

◎自分たちの作った舟を見せ合い、工夫したことや発見を伝え合う

- ・子どもたちのアイデアや工夫を認め、次への製作意欲につながるようにする

今日の発見  
聞かせて！



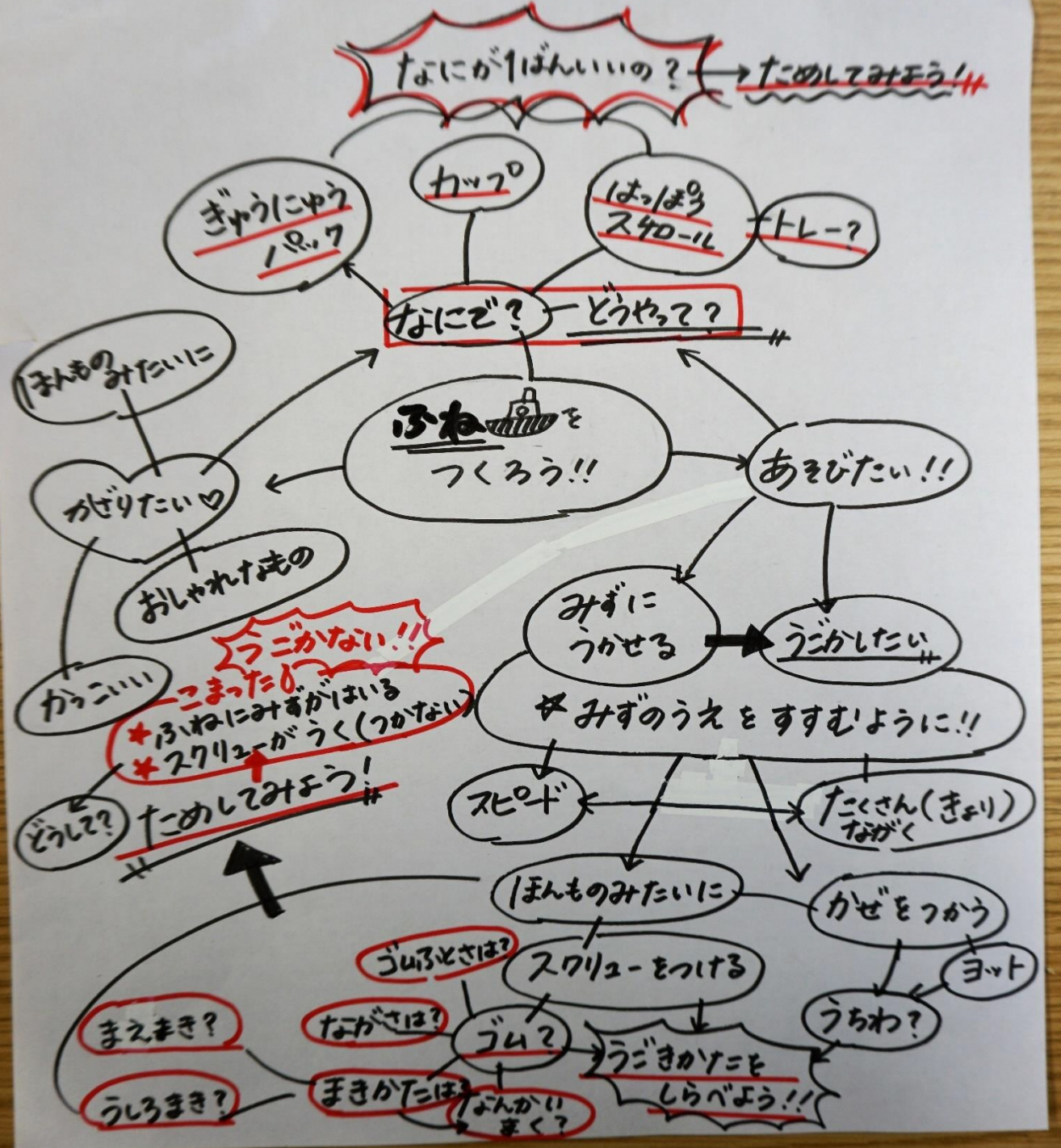


◎更に  
次の意欲につながるように！

## ○可視化

(マップ、ドキュメンテーション  
作った舟、写真等)

- 遊びの展開、プロセス、  
課題点の見える化



# 「色水遊び」 (年中組)

- 色んな素材を使って色水を作る  
(・絵の具 ・草花 ・花ちり紙 ・紙テープ)
- 混色を楽しむ



# 【想定外の出来事も一緒に心動かす】

どこまで  
入るの？



すごいすごい！  
膨らんできた

# 【子どもの主体性を支える保育者の役割】

『答えを教える』『正しく、忠実にさせる』『指導計画通りに進める』から

## 子ども自身が探求する保育へ

○**環境の用意**（目的に合うものに出会えるような教材、環境、しかけ、時間）

自分たちで考える、調べる、選ぶ、工夫できるように・・・

○**話し合い**（全体、グループ、個別）の場、時間の保障

伝え合う、振り返る、みんなで共有できるように・・・

○話や内容の**共感**、**整理**や**問いかけ**、**周囲へつなげ**一緒に確かめる

自分たちで気付ける、考える支援

それもおもしろいね

こんな意見もあるけどどう？

どうしてだろう？

困ったね…  
どうしたらいいかな？

○子どもの『**おもしろい**』を保育者も『**おもしろ**』がる

# 【主体性を育む保育を目指して】

「子どもの主体性」とは何か？

子どもの主体性を育むための

「保育者の援助、環境」とは？

悩みながら、探りながら、試行錯誤する営みこそ

質の高い保育 = 専門性 につながる